

2025/4/25号

こんにちは、NPO法人日本オランウータン・リサーチセンター(おらけん)です。

おらけんの活動に賛同いただき寄付をしてくださった皆様に、メールマガジンを送信いたします。
{EMAIL}宛てにお送りいたしております。

おらけんの活動報告や今後の予定などについて、適時配信予定です。
よろしくお祈いします。

4月号をお届けします。

=====

4月27日 日曜日19時30分より放送

NHKの大人気テレビ番組

ダーウィンが来た！オランウータンの学校第2弾！

「ジャングルスクールいのちの学校 仲間と学べ！オランウータン」

=====

密猟や森林破壊で親を奪われたオランウータンの子どもたちに、人が親がわりとなって生きるすべを教え、野生復帰を目指す、「オランウータンの学校」第2弾です。

今回のテーマは、「仲間と学び合う」です。

●番組名：ダーウィンが来た！「ジャングルスクールいのちの学校 仲間と学べ！オランウータン」

●放送日時：4月27日 日曜日19時30分より20時

●チャンネル：NHK総合

詳しい情報は、下記のNHK公式サイトで

(外部サイトに移動します)

↓

<https://www.nhk.jp/p/darwin/ts/8M52YNKXZ4/blog/bl/pB5jvKDK8E/bp/pBdDpkx4XB/>

=====

愛媛県立とべ動物園に

ボルネオオランウータンの「ジェニファー」がやって来きます！

=====

2024年9月に愛媛県とインドネシア共和国で締結したオランウータンの共同保護を目的とした協定（GtoG）に基づき、オランウータンを飼育しているインドネシア共和国「タマンサファリ・インドネシア」と「とべ動物園」の間でブリーディングローンに関する協定書(BtoB)を締結、オンライン調印式が行われました。

●愛媛県立とべ動物園には、ボルネオオランウータンのオスの「ハヤト」がおり、繁殖のため、インドネシアの政府と2019年からメスを迎える調整を続けていました。

そしてこの度、インドネシアのタマン・サファリ・インドネシアと15日、野生生物の保護や繁殖を目的に動物の貸し借りをを行う協定を結び、メスを迎えることが決まりました。

迎えるのはボルネオオランウータンの「ジェニファー」です。

今後、ワシントン条約の手続きや検疫などを経て、今年度中に受け入れられる予定です。

(外部サイトに移動します)

↓

<https://www.pref.ehime.jp/page/108140.html>

=====

スマトラオランウータンの「ウラン」

のんほいパークから市川市動植物園に移動しました

=====

国内で現在7頭飼育されているスマトラオランウータンの繁殖を期待して、移動がありました。

●豊橋総合動植物園（のんほいパーク）では、スマトラオランウータンのメス「ウラン」と、オス「ウータン」を飼育、繁殖に取り組んできました。

しかし進展がみられないため、一旦「ウラン」を他園へ移動させ、繁殖経験のあるオスと繁殖に取り組むことになり、3月10日、スマトラオランウータンのいる市川市動植物園に移動しました。

●市川市動植物園で一般公開が始まりました！

豊橋市総合動物公園より3月10日に来園したスマトラオランウータンの「ウラン」が、3月22日土曜日に一般公開されました。

新しい環境にも慣れたようで、現在のところ食欲、体調ともに安定しているそうです。

「ウラン」は2005年生まれです。

移動先の市川市動植物園には、オスの「イーバン」がいます。

ぜひ会いに行ってください！（体調によっては放飼を中止する場合があります）

（外部サイトに移動します）

↓

<https://www.city.ichikawa.lg.jp/zoo/0000479552.html>

●朝日新聞で市川市動植物園のオランウータン飼育に関する記事が公開されました！

（外部サイトに移動します）

↓

<https://www.asahi.com/articles/AST4MORMVT4MUDCB001M.html>

=====

5月新刊のご案内

『キューのふるさとボルネオの森』

黒鳥英俊文

横塚真己人写真と構成

=====

日本の動物園にいるオランウータンで、野生出身の最後の2頭となつたうちの1頭、東京の多摩動物公園のオスのオランウータン「キュー」と、キューのふるさとである生物多様性に富んだボルネオ島の熱帯雨林を紹介する待望の写真絵本です。

●動物園に勤務し長年大型霊長類の飼育を手がけ、退職後はボルネオの熱帯雨林や生物の保護活動をおこなうNPOで活動してきたおらけん代表の黒鳥と、キューの時間軸が重なりながら展開するストーリーと、NPOとともに活動してきた写真家・横塚真己人氏の貴重な写真で、「知ることの大切さ」を読者に熱く伝えます。

出版社偕成社

定価（本体価格）1,600円＋税

対象年齢 小学中学年から

ジャンル絵本 日本の絵本

サイズ（判型）26cm×21cm

ページ数40ページ

ISBN 978-4-03-333760-9

発売日 2025年5月12日

●発売後は書店でお買い求めいただけます。

詳しくはこちら

↓

<https://www.kaiseisha.co.jp/books/9784033337609>

=====

ママライフをもっと楽しむための応援マガジン 「クルール」
オランウータン研究者・久世濃子の月一回連載【コソダテ進化論】

=====

●スマホを通じた語りかけでも、赤ちゃんの言語能力は発達する【コソダテ進化論】

↓

<https://tochigi.couleur-mama.net/topics/28312/>

●母親にも赤ちゃんにもメリットがある、ヒト本来の育児「アロマザリング」【コソダテ進化論】

↓

<https://tochigi.couleur-mama.net/topics/28193/>

●「コドモから片時も離れず育児に専念する母親」は哺乳類ではとても珍しい【コソダテ進化論】

↓

<https://tochigi.couleur-mama.net/topics/28118/>

今までの一覧はこちらからご覧いただけます。

<https://tochigi.couleur-mama.net/?>

[s=%E3%82%B3%E3%82%BD%E3%83%80%E3%83%86%E9%80%B2%E5%8C%96%E8%AB%96](https://tochigi.couleur-mama.net/?s=%E3%82%B3%E3%82%BD%E3%83%80%E3%83%86%E9%80%B2%E5%8C%96%E8%AB%96)

=====

奥田達哉写真展と関連イベントのご案内

キヤノンギャラリー大阪

「猿、鹿、屋久島。」

=====

ビジネスマン生活を送りながらライフワークとしてアラスカから熱帯雨林に及ぶ野生動物観察を行う中、地球環境の危機を目の当たりに、「手遅れになる前にこの状況を多くの方に知ってもらいたい」との思いに駆られ、写真を通じ地球環境の危機と野生動物の素顔を発信する写真家・奥田氏の写真展です。

2022年には、ボルネオ島の野生オランウータンの写真を含む「絶滅危惧種東南アジアの霊長類」の写真展を開催、好評を博しました。

●写真展

開催場所：キヤノンギャラリー大阪

期間：2025年4月30日（水）から5月17日（土）まで

時間：10時から18時まで（日曜・月曜・祝日休館）

協力環境省屋久島世界遺産センター

後援屋久島町、公益財団法人屋久島環境文化財団

●写真展に伴い大阪では、京都大学名誉教授で熱帯雨林の調査研究を続けてきた湯本貴和氏のギャラリーートークも開催予定です。

尚、トークショーは予約（先着30名）が必要です。

（銀座では屋久島を拠点に活動する水中写真家の高橋怜子氏のトークイベントが行われました）

写真展、ギャラリートークについて詳しくは下記URLをご確認ください。

↓

<https://personal.canon.jp/event/photographyexhibition/gallery/okuda-vakushima>

●また同一タイトルの写真集を出版し、写真展会場で先行販売致します。
遠方の方には公式ネットストアでも購入頂けます。
A4判96ページで、多くの作品を収録しております。

詳細は次のリンクのとおりです。
(作品例を10点ほどご覧頂けます)

↓

<https://tatsuya-okuda.stores.jp/>

=====

新刊のご案内

公益財団法人森林文化協会発行

『森林環境2025』 森林環境2025特集野生動物と人間

=====

森林や環境の問題に携わる研究者とジャーナリストでつくる「森林環境研究会」が、年間の集大成として2004年以来発行を続けている『森林環境』の最新刊に、おらけん理事の久世が寄稿しました。

●特集は「野生動物と人間」。

捕獲して食料にしたり、被害をもたらす獣害となったり、減少による保護の対象となったり。野生動物と人間の関係は歴史的にも変遷をたどってきました。

国内で昨今、「アーバン・ベア」と呼ばれる都市に出没するクマによる被害が、社会的に関心を集めるなか、本書は野生動物と人間の関係の現代的な意味を多角的に問い直し、今後の野生動物と人間のあるべき関係を考え、研究会が選んだ専門家らが論考を提示しています。

●久世は、第二部「途上国における野生動物と人間の関係」に下記を寄稿しております。

「東南アジアにおける野生動物と開発」久世濃子

PDFで閲覧も可能です（下記のURLからアクセス下さい）。

↓

<https://www.shinrinbunka.com/wp-content/uploads/2025/03/f554257fd14f912f2a9ef254e0b5028f.pdf>

また、書籍（写真、図表カラー）は有料で販売しております。
ご希望の方は森林文化協会へご連絡ください（送料は別途）。

編著森林環境研究会

責任編集者原田一宏、井上真

発行者藤井龍也

発行（公益財団法人）森林文化協会

価格1800円+税

尚、書籍はAmazonサイトでも販売する予定とのことです。

詳しくはこちらへ

↓

<https://www.shinrinbunka.com/publish/shinrin/>

=====

熱帯部[NETTAI]主催

市民大学講座「熱帯大学2025」

連続講座のお知らせ

=====

熱帯の専門家6人の講師がそれぞれの視点で熱帯について語る、この秋9月から始まる連続講座のご案内です。

●9月20日の第一回目は、京都大学名誉教授で熱帯雨林の調査研究を続けてきた湯本貴和氏の講座です。

おられん代表の黒鳥は来年3月の講座を担当いたします。

修了旅行では、タイまたはボルネオ島のプロジェクト地視察ツアーが予定されています。

(旅費は別途必要)

会場：アジア図書館（大阪市阪急淡路駅前）

期間：2025年9月より2026年7月（全6回）

第一回目：9月20日土曜日15時30分から17時まで

受講料：20,000円（年間）

募集人数は30人程度

講師陣の確認や申込みについて、詳しくは下記URLからご覧ください。

(外部サイトに移動します)

↓

https://www.instagram.com/nettaiquest/p/DFZz3P8yHVH/?img_index=1

=====

名古屋市教育委員会大学連携講座

「動物の福祉を目指したい大型類人猿の診療ネットワークづくり～動物とヒトとの共存のために私たちにできること～」のご案内

=====

名古屋市と名古屋市立大学共催の連携講座で、看護学研究科教授尾崎氏による公開講座が開催されます。

尾崎教授は先日22日に東山動植物園で行われたイベント「動物とヒトとの共存 そのために私たちに何が出来るか？」の総合司会を務められました。

夏に開催される講座ですが、3月25日から申し込みの受付が始まります。

●「動物の福祉をめざした大型類人猿の診療ネットワークづくり～動物とヒトとの共存のために私たちにできること～」

講師 名古屋市立大学看護学研究科教授 尾崎康彦

日時 8月19日火曜日13:30から15:00

場所 イーブル名古屋（名古屋市女性会館）

定員 100名

参加費 無料

どなたでも参加いただけます。

申込方法など詳しくはこちら

↓

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/media/chinohiroba39web.pdf>

=====

おらけんWEBサイトに新しい情報！

=====

おらけんの活動の一環として、「人材育成」を行っています。

現在、調査地のダナムバレイにおいて、マレーシアの連携組織から推薦された候補者を対象に研修を実施しています。研修生たちは、研究者や現地スタッフの指導のもと、野生オランウータンの調査方法を学んでいます。

●おらけん公式WEBサイトに人材育成についての内容などを新たに公開しました。

研修の様子を写真を交えてお伝えしています。

今後ともよろしくお願いいたします。

(外部サイトに移動します)

↓

https://www.orangutan-research.jp/dunumvalley/conservation_activities.html

=====

新しいYou Tube 動画公開しました！

=====

ダナムバレイ保護区で撮影したオランウータンの映像をシリーズで配信しています。

久しぶりの第5弾となる今回は、「オランウータンの食べもの」。

野生のオランウータンが森の中で何を食べているのかをご紹介します。

実は、このテーマは動物園のオランウータン飼育員の方から最もよく聞かれる質問のひとつです。

そんな疑問に答えるために、今回の動画を制作しました。

ぜひご覧ください。

●オランウータンの食べもの

[オランウータンの食べもの](#)

=====

継続して活動に取り組むための

ご寄付のお願い

=====

●日本オランウータン・リサーチセンターの活動は、会員様からの会費とご寄付によって支えられています。

皆さまからのご寄付は、オランウータンの調査や保全活動、講演会のために大切に活用させていただいております。

オランウータンを守るためにも、ぜひ皆さまからのご支援をお願いいたします。

◇【賛助会員】

当NPOの活動理念に賛同し、団体の活動を応援・支援して下さる会員様を募集しています。

<https://congrant.com/project/orangutan/5575>

●ご注意ください！賛助会員は2024年1月より、都度決済から継続決済（年に1回の自動引き落とし）に変更になります。

<https://congrant.com/project/orangutan/5575/form/step1>

◇【1回の寄付】

1回ずつその都度ご寄付いただく単発の寄付も募集しています。都度寄付は皆さまがご支援いただけるお好きなタイミングで、その都度ご寄付いただくプランです。ご寄付の時期や金額もその都度、自由にお決めいただくことができます。

https://congrant.com/credit/form?project_id=2057

◇【毎月の寄付】

毎月少額のご寄付をいただき活動を支えるマンスリーサポーターの方を募集しています。お支払いは月額1,000円・3,000円・5,000円からお選びいただけます。

https://congrant.com/credit/form?project_id=2058

=====

【編集後記】

もうすぐゴールデンウィークが始まります。

20年前の多摩動物公園に、オランウータンが、彼らの能力を存分に発揮し来園者の頭上を渡ってゆく施設「スカイウォーク」が完成しました。

今月号は動物園のホットな情報、そして多摩動物公園のボルネオオランウータンのキューの写真絵本発売の情報が載りました！

動物園が楽しい季節ですね。(那須)

今後もオランウータンについて様々な情報を発信していきますので、オランウータンや研究のことなどについて興味をもっていただけると嬉しいです。

よりわかりやすく、おもしろいメルマガにするために、サポーターの皆さんからご意見、ご感想をお待ちしています！

事務局メールアドレス：

info@orangutan-research.jp

=====

■ NPO法人日本オランウータン・リサーチセンター(おらけん)

Japan Orangutan Research Center (JORC)

<http://orangutan-research.jp>

■ facebookにて、おらけん最新情報を発信中！

<https://www.facebook.com/orangutan.research/>

■ 登録解除やアドレス変更は、下記アドレスまでご連絡ください。

info@orangutan-research.jp

◇メルマガ解除はこちらよりも行うことができます。

{DELURL}

=====

{YEAR}年{MONTH}月{DAY}日{HOUR}時{MINUTE}分{SECOND}秒 {WEEK-JP}曜日

